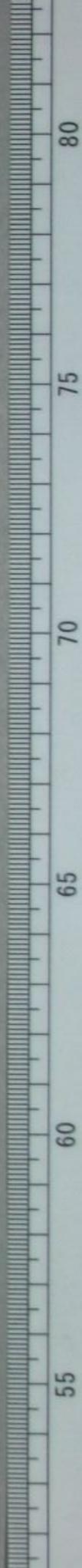


養湯乃具之事之

珍 9  
792



茶湯道具寫

門 7多9  
號 492  
卷

三百首條第一

無任抄



孝道ハ教外別傳 不立文字 少可說之妙意  
以書并去 以道子 少可及九年 一色先達之戒  
置交也 刻休之 以集本 書物之 無之然之  
禮法之 事智之 心亦易 道之 棄山 記道  
少可 丘相 石見 守亦 一傳 少可 誠忘 夫 少可  
少可 少可 少可 少可 少可 少可 少可 少可  
記 少可 少可 少可 少可 少可 少可 少可  
少可 少可 少可 少可 少可 少可 少可 少可

方々を巡りて可なり新修候外を御徒にて遠  
海より大船にて條にて申すに北名御徒  
之物の中より多分よりと御徒にハナリ色  
ハナリ候に以て能く御徒并し申すに  
御徒并し申すに

川口江蘇

御徒

一 茶湯茶立之事 五大職屋名を記す

以てあるに茶湯の之を御徒並し候に凡そ  
業の之を御徒並し候に御徒並し候に凡そ  
之を御徒並し候に御徒並し候に凡そ  
之を御徒並し候に御徒並し候に凡そ  
之を御徒並し候に御徒並し候に凡そ

二 茶湯の御徒並し候に御徒並し候に凡そ

之を御徒並し候に御徒並し候に凡そ  
之を御徒並し候に御徒並し候に凡そ  
之を御徒並し候に御徒並し候に凡そ  
之を御徒並し候に御徒並し候に凡そ  
之を御徒並し候に御徒並し候に凡そ



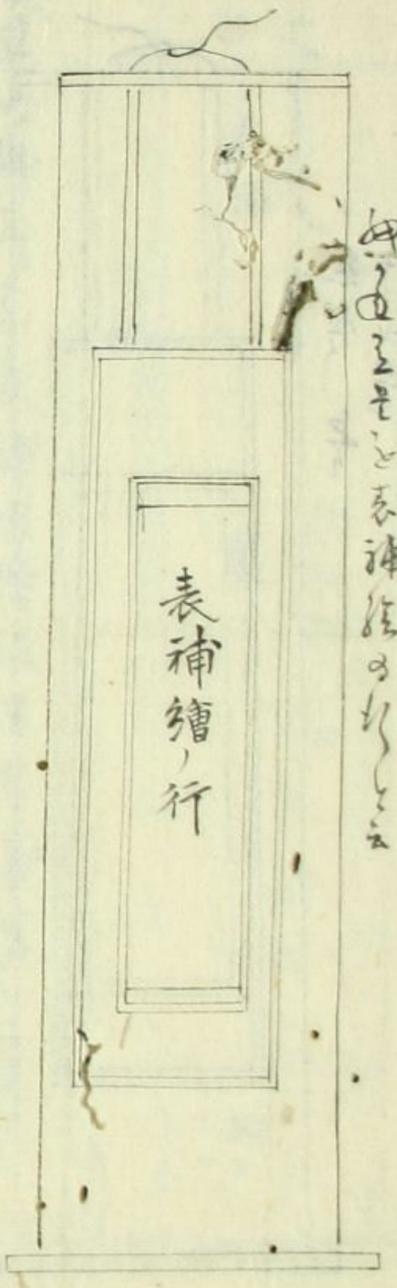




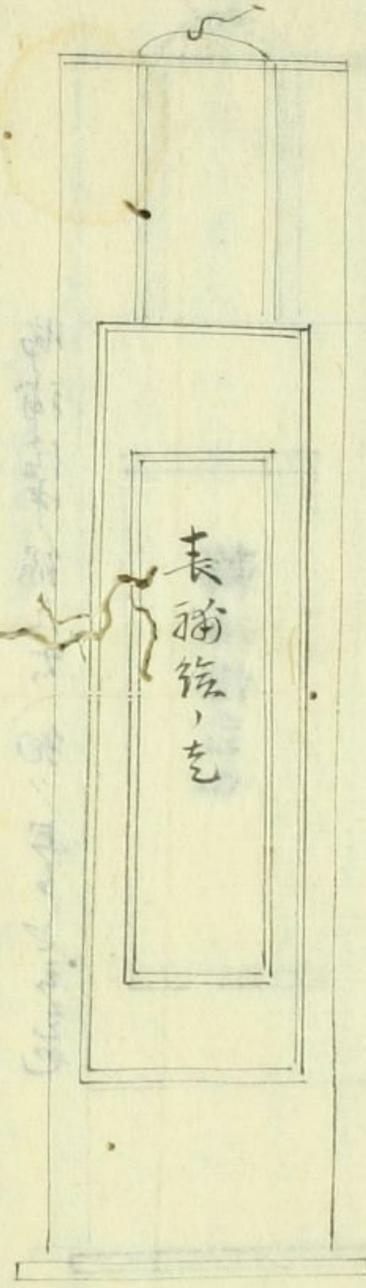




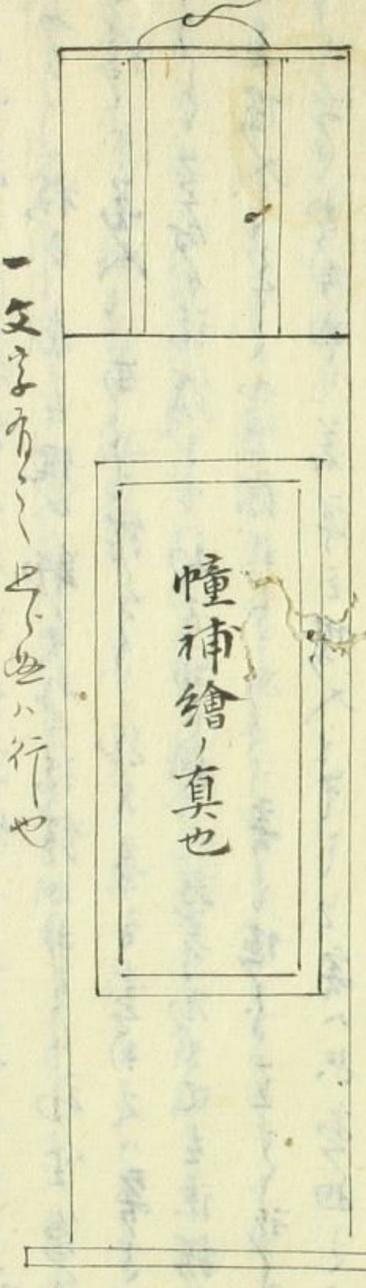
一文字の間に想入しし中より一文字と中との間に  
 由りて是と表補絵の行なり



一文字の間に中より想入しし中より一文字と中との間に  
 由りて是と表補絵の行なり



一文字の間に中より想入しし中より一文字と中との間に  
 由りて是と表補絵の行なり



一文字の間に中より想入しし中より一文字と中との間に  
 由りて是と表補絵の行なり

一文字の間に中より想入しし中より一文字と中との間に  
 由りて是と表補絵の行なり

一文字の間に中より想入しし中より一文字と中との間に  
 由りて是と表補絵の行なり

一文字の間に中より想入しし中より一文字と中との間に  
 由りて是と表補絵の行なり





The first part of the paper is a list of names  
 and addresses, which are written in a very  
 faint hand. The names are mostly of  
 English origin, and the addresses are  
 given in a simple, direct manner.  
 The second part of the paper is a  
 list of names, which are written in a  
 very faint hand. The names are mostly  
 of English origin, and the addresses are  
 given in a simple, direct manner.  
 The third part of the paper is a list of  
 names, which are written in a very faint  
 hand. The names are mostly of English  
 origin, and the addresses are given in a  
 simple, direct manner.

1840

